

第23回 日遊協 通常総会

「続投・深谷丸 若返り」で船出 新理事5人、新監事加えクルー強化

第23回日遊協通常総会は6月7日、東京・大手町のKKRホテル東京で開かれた。任期満了に伴う役員改選で新理事5人、新監事1人が誕生し、続いて開かれた臨時理事会で深谷友尋会長（フシミコーポレーション(株)）の続投が決まった。景気の低迷と大震災の後遺症が日本全体に重くのしかかる厳し

い経営環境の荒海に、「新生・深谷丸」は船出した。「多額な投資を要する遊びではなく、気軽にポケットマネーで遊べる産業に切り替えていこう」と深谷会長は訴えた。（4ページに深谷会長のあいさつ）

安藤利彦、金沢全求 岸野誠人、西村拓郎 樋口益次郎氏の5氏

任期満了に伴う役員改選が行われた。阿部恭久（サンキョー(株)）、石橋保彦（株平和）、石山敬達（株ビツグバン）、吉川篤（株郡慶）の4副会長と山口雅弘理事（株山口商事）が退任した。新任として安藤利彦（株アスカ）、金沢全求（株三洋物産）、岸野誠人（東和産業(株)）、西村拓郎（日拓ホーム(株)）、樋口益次郎（三宝商事(株)）の5氏、再任の25氏、計30氏の理事候補が提案され、全員が承認

された。また、安藤氏は監事から理事への変更となるため、新たな監事候補として和久田守彦氏（株愛知商会）が提案され、承認された。

副会長も新たに4人

総会を中断して臨時理事会が開かれ、会長、副会長、専務理事、常務理事の互選が行われた。会長は深谷氏の続投が満場一致で決まった。副会長は深谷会長の推薦を受けて大久保正博（大丸商事(株)）、兼次民喜（株オリンピア）、庄司孝輝（ピーアークホールディングス(株)）、山田久雄（株九州エース電研）の4氏が再任され、新たに安藤、金沢、韓裕（株マルハン）、福井章（株ポネール）の4氏が選任された。専務理事に篠原弘志、常務理事に伊東慎吾の両氏が留任した。

深谷会長は2001年（平成13年）



（右上から）安藤利彦、金沢全求、
（左上から）岸野誠人、西村拓郎、
樋口益次郎の各氏

会長ほか役員を互選した理事会

8月に、当時の平本将人会長が健康上の理由から任期半ばで辞任した後を受けて会長に選任され、その後6回改選された。選任された深谷会長は、「新しい体制が整った。副会長、理事の人事の要は『若返り』だ。よりアクティブな活動をしていきたい」と抱負を述べた。

2011年度事業報告・決算報告、12年度事業計画・予算が提案され、承認された。11年度収支決算では、事業活動収入は3億3700万円、事業活動支出は3億6000万円、事業活動収支差額は2300万円のマイナスとなった。12年度収支予算では、事業活動収入は3億7969万円、事業活動支出は3億6634万円、収支差額は1335万円のプラスを見込んでいる。



会員と記者団でぎっしりの会場で
篠原専務（右奥）が事業報告



懇親会においても
力強く「健全化」を強調した挨拶の深谷会長



新体制となる専門委員会とPT（プロジェクトチーム）の担当理事の配置が報告された。広報調査委員会は庄司副会長、人材育成委員会は岸野、樋口両理事、社会貢献・環境対策委員会は知念理事、遊技機委員会は大久保副会長、中古機流通PTは安藤副会長及び事務局から篠原専務理事、消費税PTと店外オンラインPTは福井副会長、風営法PTは篠原専務理事がそれぞれ担当する。

団体加盟している同友会からの特別参与に、高濱正敏氏に代わり松田高志代表理事が委嘱された。

長年にわたり日遊協活動に貢献した前理事・東北支部長の木村一

雄氏（有第一遊機）に感謝状が贈られた。新相談役に理事を退いた阿部、石橋、石山、山口、吉川の5氏が委嘱された。金海龍海、庄司正英、岩見吉朗、若松千容子、日野二郎の5相談役が再委嘱された。

岡本、市岡氏を表彰 エッセー・絵手紙コンクール

「第2回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール」の表彰式が行われ、エッセー部門最優秀賞、岡本佳苗さん（41）（神戸市、会社員）、絵手紙部門最優秀賞、市岡哲夫さん（60）（京都府亀岡市、無職）の2人が表彰された。岡本さんには盾と副賞の旅行券30万円分、市岡さんには本人の作品をあしらった絵皿と副賞の旅行券15万円分が手渡された。また、会場入口には、広報調査委員会の手で絵手紙の入賞作品13点が展示された。

古谷洋一課長が 課題5点強調

警察庁生活安全局、古谷洋一保安課長が講話を行った。同課長は、当面の課題として、賞品の買取問題、適切な賞品提供

日遊協新体制

（○印は新任、50音順）

会長	深谷 友尋	フシミコーポレーション(株)
副会長	○安藤 利彦	(株)アスカ
同	○大久保 正博	大丸商事(株)
同	○金沢 全求	(株)三洋物産
同	○兼次 喜輝	(株)オリンピック
同	○庄司 孝輝	ピーアークホールディングス(株)
同	○韓 裕章	(株)マルハン
同	○福井 久雄	(株)ボネール
同	○山田 弘志	(株)九州エース電研
専務理事	篠原 伊東	院外(事務局)
常務理事	伊東 志	院外(事務局)
理事	秋田 光勇	(株)エース電研
同	○内ヶ島 隆寛	(株)高尾
同	○大饗 裕記	(株)アス・ワン
同	○栢森 秀行	ダイコク電機(株)
同	○岸野 誠人	東和産業(株)
同	○後藤 信行	(株)ナオ
同	○小林 友也	(株)北電子
同	○篠原 菊紀	諏訪東京理科大学
同	○白石 久徳	(株)千歳観光
同	○知念 安光	(株)ニラク
同	○堤 義成	(株)安田屋
同	○西村 拓郎	ラーネッド総合法律事務所
同	○樋口 益次	日拓ホーム(株)
同	○日野 洋一	三宝商事(株)
同	○吹浦 忠正	(株)鉄人化計画
同	○松谷 明良	拓殖大学
同	○山口 悟	(株)ピクトリア観光
同	○加藤 義久	京楽観光(株)
同	○平澤 黎智	日本みらい会計事務所
同	○和田 守彦	(株)山水
同	○松田 高志	(株)愛知商会
特別参与		同友会

の徹底、貯玉・再プレイシステムの利用に伴う手数料の取扱い、闇スロの撲滅、今夏の節電の5点を強調した。

（6〜10ページに古谷課長の講話）

総会の出席者は正会員125社、委任状提出正会員126社、計251社で、正会員（345社）の4分の3を超え、定款第23条及び第39条の規定により、総会は無効に成立した。

新理事の抱負 厳しい状況に力合わせ

新たに理事に就任した5氏は、総会後の記者会見で次のように抱負を語った。

安藤副会長「昨年1年間、監事を

務めた。今回、副会長の重責をいただいたので、微力ながら一生懸命にやらせていただく」

金沢副会長「4円パチンコのファンが減少している。これ以上厳しい環境にならないように日遊協の皆さんと話し合って、ファンに喜んでいただける、手軽で安心できる遊技機の開発を検討していきたい」

岸野理事「1977年生まれ、35歳の若輩者だが、少しでも先輩方のお力になれるようにがんばっていききたい」

西村理事「今回お声をいただいたき、微力ながら日遊協を通じて業界全体のためにお役に立ちたい」

樋口理事「業界の価値が今問われている。皆で知恵を出し合いながら解決方法を見出したい」

エッセー絵手紙コンクール最優秀受賞者インタビュー

思いつのり書きながら涙が 岡村佳苗さん

—市岡さん、岡本さん、応募のきっかけは何だったのでしょうか。

岡本 休日に家族でケーブルテレビのパチンコ番組をなんとなく見ていたら、この募集告知が流れて、作品にした題材がぱっと浮かんだものだったので、応募しようと思いました。

市岡 私は、よく利用する公募ガイドを見て応募しました。パチンコは、父親や息子はやるんですが、私はやらないので最優秀賞をいただきたい気持ちです(笑)。

—そうおっしゃいますが、印象的な力強い作品ですよ。

市岡 息子はパチンコがすごく好きみたいで、家でも話をしますから、おそらく息子がそういう感じで作っているんじゃないかな、と想像しているわけです。絵手紙の言葉もぱっと思いついた言葉なんですけど、個人的には絵がまずいですけどね(苦笑)。

—岡本さんのエピソードは、本当にそんなことが?とお聞きしたくなるような偶然なのですが。

岡本 ええ、本当にあの時は私もびっくりしました。隣のおばちゃんの話しかけてくれなかったら、祖母のことを気にかけてくれた方がいたことに気づくことはなかったでしょう。実はこのエッセーを書きたいと思ったのは、私の帰る時間がもう少し違っていたら、祖母は事故にあわなかったのではな

いか、という後悔のようなものが、ずっと心に残っていたからだと今、思うのです。書くことを通して祖母への思いや、祖母を気にかけてくれた店員さんがいらっしやる世界なのだなってことが嬉しい、ということもわかったんですよね。書きながら涙がたくさん出ました。



エッセー最優秀賞の岡村佳苗さん(左)と絵手紙の市岡哲夫さん

長谷川 友尋 深谷 あい

昨日の6月6日、私が最もご指導をいただいていた方が亡くなられました。社会貢献に関する大恩人でもあった寛仁親王殿下について話をさせていただきたいと思えます。寛仁殿下は私たちの産業から遠いようで、実はたいへん近い間柄の方でした。

25年前の若いころ、私は愛遊協の青年部長を務めており、「地域のために何かいいことを」と模索していました。機会に恵まれ、寛仁殿下のお話を伺うことができました。「君たちの産業はうさんくさいところがある。本当に社会貢献の気持ちがあるのか」と一喝されました。私は大きな衝撃をうけ「一生懸命やっています。青年部にお力添えをいただきたい」と必死な気持ちで申し上げました。以後、私は社会貢献活動に、まっすぐ進んできました。

寛仁殿下はよくこんなことを言われました。「君たちは自分のことを健康者と思ひ、障害のある人をなんとか救おうと思っているだろう。この世に健康者はいない。心の悩みを持った人、うまく話しのできない人もある意味障害者だ。すべて、ともに生きる人間なのだ」。目からウロコが落ちて、かわいそうだから援助するという上から目線を恥じました。同じ目線、同じ土俵、私は考え方を覚えてきました。おかげさまで、この産業は世の中から親しまれ、多くの理解者も得られました。このように陰で支えてくださったのが寛仁殿下でした。感謝の心を忘れずに私たちの道を邁進することが恩返しではないかと思えます。

私の、きょうの思いを述べさせていただきましたが、このような状況の中で日遊協はさまざまな事業、活動を展開してきました。つい先日の6月1、2日に開かれた「環境フォーラム・ばちんこ&パチスロフェスタ」には4500人以上の方が参加してくれました。メーカーさんの多大な開発費をかけたご協力で出展できたコンセプト機など、お客様の視線でより楽しめる遊技の可能性を示しました。私たちは、「ポケットマネーで遊べる産業」へ大きく舵を切っていかなければなりません。

玉川課長補佐(左端)と歓談する
(左から)深谷会長、退任した阿部副会長、原田實全日遊連理事長



「懇親会、3000人で賑やかに 節度」なくせば業界に明日はない

深谷友尋会長

通常総会に引き続き、6月7日夕からKKRホテル東京で懇親会が開かれた。業界関係者を中心に約3000人が出席した。冒頭、「第2回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の最優秀賞受賞者、岡本佳苗氏(エッセー部門)、市岡哲夫氏(絵手紙部門)が壇上で紹介された。

深谷会長は「もう健全化とか不

正とか射幸性だとかいわれない業界にしよう。日遊協憲章の3つの心をもう一度振り返ってみよう。

1つは育む心『誇りを持って大衆娯楽の開発・提供にあたります』。2つ目は勤しむ心『企業市民として環境保全や社会貢献につとめます』。3つ目は慎む心『節度を保ち、常に社会との調和に心を配ります』。このことだと思ふ。節度を保たない限り、われわれの業界に明日はない。日遊協の会員から全国に発信し、本当に国民の信用が得られるような業界づくりをしよう」とあいさつした。

来賓の古谷洋一警察庁保安課長、原田實全日遊連理事長、市原高明日工組理事長が祝辞を述べた。

6月末の全日遊連総会で退任が決まっている原田理事長は、「業界は今変わるべき時期に来ている。全日遊連としても深谷会長のいわれた3つの心を素直

大久保副会長(中央)を激励する庄司正英相談役
(左端は茂木欣人風営法PTリーダー)

業界の今後を話し合う
(左から)安藤新副会長、和久田守彦新監事、中村昌勇全商協会長



抱える様々な問題を解決し、社会的地位を確立する1つの施策として、エコ遊技機の開発に対応

にいたりたい。これを実現させなくてはいけない」と述べ、その上でこれまでの業界からの支持に感謝の意を表した。

市原理事長は「遊技産業が抱える様々な問題を解決し、社会的地位を確立する1つの施策として、エコ遊技機の開発に対応

きる環境を関係団体とともに作り上げていきたい。協力のほどをお願いしたい」と強調した。

新役員の安藤、金沢、韓、福井の4副会長、岸野、西村、樋口の3理事、和久田監事が紹介された。中村昌勇全商協会長が乾杯の発声をして懇談が始まった。

第23回通常総会・懇親会来賓(順不同・敬称略)

〔警察庁生活安全局保安課〕課長・古谷洋一▽課長補佐・玉川達也〔一般社団法人遊技産業健全化推進機構〕専務理事・伏見勝▽事務局長・伊勢崎清▽事務局次長・青羽孝雄〔全日本遊技事業協同組合連合会〕理事長・原田實▽専務理事・吉原文司▽事務局長・西俊文〔日本遊技機工業組合〕理事長・市原高明▽専務理事・緒方右武▽常務理事・山澤求〔日本電動式遊技機工業協同組合〕常務理事・原田亨▽事務局長・平野薫美▽技術部長・三角容弘〔全国遊技機商業協同組合連合会〕会長・中村昌勇▽専務理事・高橋稔▽事務局長・須田久夫〔回胴式遊技機商業協同組合〕顧問・渡邊泉郎▽専務理事・桂木俊郎〔遊技場自動補給装置工業組合〕理事長・梁川誠市▽副理事長・河方洋〔遊技場メダル自動補給装置工業会〕理事長・大泉政治▽理事・事務局長・今井茂喬〔遊技場自動サービス機工業会〕理事長・古宮重雄▽事務局長・山田崇晴〔一般社団法人日本遊技産業経営者同友会〕代表理事・松田高志▽副代表理事・薛博夫▽事務局長・古屋孝章▽事務局課長・宮本成徳〔一般社団法人余暇環境整備推進協議会〕常務理事・木原海鵬▽事務局長・田中弘〔一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会〕代表理事・佐藤公平▽専務理事・中島基之▽法律問題研究部会リーダー・森治彦〔一般社団法人プリバイドシステム協会〕理事長・小堀豊▽専務理事・恵良道信〔東京都遊技業協同組合〕専務理事・松田洋

講話

風営法を再認識して 健全な業態の確立を



警察庁生活安全局保安課

古谷洋一 課長

深く敬意を表する次第であります。

一方で、残念なことではあります。貴協会を始めとする各団体の御努力にもかかわらず、依然としてばちんこ営業については、過度に射幸性を追求した営業の問題や、

遊べる身近なものであることと考えますが、ばちんこ業界が健全であることが、そのように感じられることは言うまでもありません。ばちんこ業界は、巨大産業として相応のモラルとコンプライアンスを求められる立場にありますところ、娯楽の原点に回帰する上で、これまで以上に透明性を高め、社会との協調の下、一丸となって強力に健全化を進めなければならぬと思っております。本日は、せっかくの機会ですので、業界の健全化を推進する上で、特に必要と考えることをお話しさせていただきます。

横断的組織生かして 過度の射幸性排除へ

まず初めに、以前から問題視されていることについて、3点お話しいたします。

一つ目は、過度に射幸性を追求した営業の問題についてです。

現在、業界では、射幸性を適度に抑え、遊技客がポケットマネーの範囲内で手軽に、安く、安心して遊技を楽しむことができる環境の整備に取り組んでおられることと認識しております。1円ばちんこに代表される低貸玉営業の普及に加え、貴協会では、これまで遊技機メーカーと協

ただいま御紹介にあずかりました警察庁生活安全局保安課長の古谷でございます。

本日は、社団法人日本遊技関連事業協会の第23回通常総会にお招きいただき、お話をする機会を頂いたことに厚く御礼申し上げます。

まず、御列席の皆様におかれましては、平素から警察行政の各般にわたり、深い御理解と御協力を賜っておりますことに、改めて御礼申し上げます。

さて、貴協会は、平成元年に設立されて以来、長きにわたって、業界唯一の横断的組織としての社会的責任を果たすべく、

各団体の先頭に立って、ばちんこ営業の健全化に尽くしてこられました。毎年2回開催される当庁との連絡会議を始めとする様々な機会を通じて当庁との建設的な意見交換を行い、業界を「説明責任を果たせる業界」へと導く御努力を続けてこられております。これらの御努力には

のめり込みに起因すると思われる各種問題、遊技機の不正改造事犯、違法な方法による賞品提供・広告宣伝等の、健全化を阻害する問題が指摘されています。今後とも、こうした問題一つ一つに対し、貴協会を始め業界が一致団結して、誠実に、かつ着実に対処していかれることが必要であると考えております。

貴協会は設立20周年を機に、ばちんこ産業の10年後の在るべき姿として「日遊協のビジョン」をまとめられました。この中には「娯楽の原点を見つめ直す」ということが、大きな柱として掲げられております。娯楽の原点とは、一般市民が、手軽に、安く、安心して余暇を費やして

力し、「気軽に長く遊びたい。」、「大当たりをたくさん引きたい。」

という遊技客のニーズに応えた射幸性の低い、幅のあるゲーム性を有する遊技機の開発に力を注いでこられました。先日も、この取組を更に推し進めるため、「もっと楽しく!!もっと遊べる!!パチンコ&パチスロフエスタ」を主催し、多数の来場者から好評を博すなど、若者からお年寄りまで幅広い年齢層の遊技客が、低予算で安心して「遊技」を楽しむことができるという大衆娯楽の原点に立ち返ろうとする姿勢を強く打ち出されています。

このように業界全体で射幸性を抑える取組を推進し、これを実現していくためには、ホール業者のみならず、遊技機メーカーの理解を得ることが必要不可欠であると感じています。ところが、皆様におかれましては、業界唯一の横断的組織として、ホール団体とメーカー団体との連携の強化にも引き続き御尽力いただきますようお願いいたします。私どもといたしましては、射幸性の高まりということには常に問題意識を持って注視してまいりたいと思っておりますので、引き続き、今の方向性をぶれることなく堅持していただきたいと考えております。

脱法的な表現駆使に 通知内容の見直しも

このほか、遊技客の射幸心をそえるものとして、営業に係る広告・宣伝についても、引き続きその適正化に関心を持っていただきたいと思いますと考えております。御承知のとおり、風営法においては、営業所周辺における清浄な風俗環境を害するおそれのある方法での広告・宣伝を規制しており、これには、著しく射幸心をそえるおそれのある行為が行われていることなどをうかがわせる内容の広告・宣伝等が該当いたします。「広告・宣伝の適正化」につきましては、昨年、広告・宣伝規制の運用方針の明確化に関する通知を發出して以降、違法広告は減少してきておりますが、根絶には至らず、様々な脱法的表現を駆使しては、自ら地域の広告・宣伝規制の遵守状況に温度差を作り出すとする状況がみられることは非常に残念であり、業界の健全化がいまだ道半ばにあることを示しているものと思っております。

当庁では、現在、広告・宣伝規制の運用方針の明確化に関する通知発出後の広告・宣伝の実態について検証を行っているところであり、この結果を踏まえて通知内容を見直すこ

とにしております。

ばちんこが大衆娯楽としての基盤を盤石なものにしていくためには、業界を挙げて射幸性の抑制に向けた懸命の努力をされる必要がある不可欠と思われるところ、皆様には、今後とも、風営法の趣旨を再認識いただき、射幸心を適度に抑えた「遊技」としての営業を行うという意識を強く持って、国民から親しまれる健全な娯楽となるための取組を一層進めていただきたいと思います。

自らの営業を通じて のめり込みの対策を

二つ目は、のめり込みの問題についてです。

ばちんこ業界が、健全化に向けて様々な取組を懸命に続けていながら、依然として、ばちんこへののめり込みが要因とみられる犯罪や児童の車内放置事件が散見されることも事実であり、こうした事件が報道されるたびに、ばちんこに対する国民の視線は厳しさを増すこととなります。

これから暑い夏を迎えるに当たり、児童の車内放置事件が1件たりとも起きないよう、駐車場のパトロールや広報啓発に加え、そもそも児童が同乗する車両については、駐車場への入場を断るという取組の徹底をお

願いたします。

貴協会の掲げる「日遊協のビジョン」の中には、ばちんこの負の側面への取組が盛り込まれておりますが、ばちんこが身近で手軽な大衆娯楽であり続けるためには、こうしたのめり込み問題に正面から取り組むことは避けて通れないものと考えます。

御案内のとおり、この問題に対応する機関として、ばちんこ依存問題相談機関「特定非営利法人リカバリサポート・ネットワーク」があります。先日、西村代表理事が警察庁におみえになり、昨年度の活動状況について報告をいただきましたが、同ネットワークは、設立以来の相談受理件数が6千件を超え、相談者への適切な助言や関係機関への紹介等を通じ、のめり込みに起因する事件・事故の未然防止等に大きな貢献をされていると承知しております。引き続き、貴協会を含め業界全体が同ネットワークに対して惜しみなく支援されるとともに、自らの営業を通じ、のめり込みの問題に真剣に取り組まれることを期待しております。

児童同乗の車を拒否 さらに根本の原因を

さて、車内放置による児童の死亡事件について申し上げますと、昨年

まで4年連続で発生しており、平成16年以降では実に12件にも上っているところだ。

こうした事件の防止を徹底するために、各ホールが駐車場内の巡回活動等に取り組まれた結果、昨年度中は41件、51名の児童車内放置を発見されたとうかがっております。今後とも、一つ一つの店舗がこうした取組を責任を持って遂行し、今年こそ、痛ましい死亡事件をなくし、これを毎年更新していくことを強く期待しております。

児童の車内放置事件の絶無には、広報啓発や駐車場のパトロールでは限界があるという声があります。だからこそ、昨年当庁からお願いたしましたように、児童が同乗する車両については駐車場への入場を断るという取組が重要になってくるわけですし、さらには、ただ今例として申し上げた対症療法的な活動のみならず、過度の射幸性の追求という、のめり込み問題のそもその原因について正面から目を向け、射幸性の抑制という原因療法に業界全体として取り組む必要があると考えます。これは、ばちんこ営業が、真の大衆娯楽として国民の信頼を勝ち取る上で避けては通れない道であり、また、最適かつ最短の道であると思えます。

不正対策を評価も 改造手口が複雑化

三つ目は、遊技機の不正改造についてです。

不正改造については、これまでの検挙件数を見ますと、平成20年が20件、平成21年が12件、平成22年が6件、昨年と同じく6件と、減少傾向にあります。その背景として、不正改造情報の収集やこれを生かした不正に強い遊技機づくり、立入検査等の業界における様々な取組が奏功していることが挙げられます。そして、その中であって貴協会では、PSIO（ピシオ）事務局として、あるいはセキュリティ対策委員会事務局として、不正改造防止対策に取り組まれており、また、ゴト事犯については、その実態と対策を周知徹底し、不正対策の一層のレベルアップを図るため、全国各地で「不正対策勉強会」を開催し、参加者を実際のゴト器具を使ってゴトを体験させ、実践的な広報啓発活動を行うなど、相応の成果を上げておられるものと承知しております。

こうした取組の一方で、不正改造の手口は一層、複雑巧妙化しており、検挙事例を見ますと、主基盤のICに不正が行われているにもかかわらず、

その痕跡が非常に分かりづらいうもの等も認められます。また、不正改造の検挙件数が減少しているとはいっても、いわゆるノーマル戻しが疑われる遊技機が散見されていることを踏まえると、いまだ不正改造の実態は根深く、そして、相当数存在していると考えられます。また、不正改造について付言しますと、釘曲げは、遊技の結果に影響を与えるものであり、一切行ってはならないものでありますが、営業成績の状況により、安易にこうした行為に手を染めてしまう業者者は、相当数いるのではないかと推察しております。このほか、ゴト事案の中には、ホールの従業員が積極的に関与するケースもみられるところだ。

警察といたしましては、引き続き厳正な取締りを行っていくこととしておりますが、この種事犯は、警察が取締りをするだけでなくなるものではありません。不正改造事犯を未然に防ぐためには、従業員一人一人が、自分の働く業界の重要な問題としての意識を持ち、日常の点検を確実に実施するなど、強い責任感を持って取り組むことが大変重要であると考えます。皆様には、引き続き営業の最高責任者としての立場から、従業員への指導も含め、不正改造防

止対策を積極的に進めていただきたいと思っております。

推進機構の成果着実 情報活用し支えよう

ところで、業界の総意で設立された遊技産業健全化推進機構では、立入検査を開始した平成19年以降、立入検査店舗数が1万4千店舗を超え、立入検査を端緒に検挙した事例も13件に上るなど、その成果は着実に上がってきております。同機構では、複雑巧妙化する不正改造に対し、その活動の質・量の向上に努められているところであり、警察としましては、その活動に大いに期待しているところだ。

同機構への支援は、業界がその自浄作用として大いに胸を張ることのできる重要な取組であると考えており、皆様には引き続き、業界全体で機構の活動を強力に支えていただくとともに、機構から発表される不正改造情報等の活用を進めていただきたいと思っております。

このほか、同機構の計数機検査において、異常な計数結果となる事案が散見されておりますところ、計数機の計数結果が事実と異なるものとなれば、それが不正改造に起因するものであれ、メンテナンス不足に起

因するものであれ、遊技客から見れば、被害を受けることになるのは変わりありません。このようなことになれば、遊技客のぼちんこ営業に対する信頼は失われ、これまで業界が積み上げてこられた健全化に向けた努力も、それに対する評価も一度に崩れ、ひいては大衆娯楽の地位を大きく損なうことにもなりかねないと考えます。

また、異常計数に基づく賞品提供は等価交換規制違反になり、その事情を知って賞品提供を行っていたら、詐欺罪に該当することもありますところ、皆様には、日々確実に計数機の点検・管理を行っていただくようお願いいたします。

賞品買い取りの規制 更なる啓発に努力を

次に、更なる対応が望まれる当面の課題について、5点お話ししたいと思います。

一つ目は、賞品の買取問題についてです。

賞品買取事件については、いまだ後を絶たず、昨年に2件、本年も既に2件検挙しております。報道によれば、今年奈良県で検挙された営業者は、「賞品の買取行為は悪いことだと思っていない」と供述している



総会後の懇親会で、今回退任することになった原田實全日遊連理事長(右)をねぎらう古谷課長

そうです。こうした考え方が業界の中で一般的だとは決して思いませんが、依然そのような認識の営業者がいたということは、ぼちんこ営業の健全化に努めておられる皆様にも、重く受け止められたことと推察いたします。皆様にはこれを踏まえて更なる啓発に努めていただきたいと思えます。

御案内のとおり、賞品の買取、買い取らせに係る規制は、現金提供の禁止や遊技機の規制と並ぶぼちんこ営業の根幹を成す規制の一つであり、ぼちんこ営業が、賭博と一線を画す営業となるためには必ず遵守しなければならぬ規制であることを、今一度、業界全体で御認識していただきたいと思えます。警察としては、自家買いが依然として行われ

ているとの想定の下、引き続き厳格な取締りを行っていくこととしております。

依然かなりの店舗で 等価交換規制に抵触

二つ目は、適切な賞品提供の徹底についてです。

風営法における等価交換規制については、昨年10月にホール関係5団体に通知した文書に記載されているとおりであり、いかなる賞品であっても、例外なくこの規制に従って提供されなければ、ぼちんこ営業を賭博としかねない重大な違法行為となります。しかしながら、依然かなりの店舗において当該規制に反する運用が行われているものと認識しております。当庁からの文書には、等価交換規制に抵触する賞品提供方法として三つの例を示しておりますが、これらのほかに不適切な賞品提供方法は他にも様々にありますことから、皆様には等価交換規制の趣旨と内容について改めて御理解いただき、市場価格に基づきいわゆる一物一価の下で適切な賞品提供を行うとともに、客が一般に日常生活の用に供すると考えられる賞品の取りそろえの充実に一層取り組んでいただきたいと思えます。

再プレー手数料など 直ちに運用の是正を

三つ目は、「貯玉・再プレーシステムの利用に伴う手数料の取扱い」についてです。

過日、文書にてお示ししたとおり、貯玉・再プレーシステムの利用に伴う手数料を遊技球等によって徴収することや、提供者が誰であるかを問わずいわゆる遊技ポイントを付与することは、いずれも風営法に抵触し、違法でありますので、直ちに運用を是正していただきたいと考えております。

また、いわゆる来店ポイントについては、一定の条件を守った上で付与することは風営法に抵触しないと考えておりますが、これに関連して、昨年10月24日付けでホール関係5団体が作成された「総付景品等の提供に関するガイドライン」を改正し、来店ポイントの取扱いも規定しようという議論があると承知しております。その際、風営法の観点から助言を求められれば、当庁としては協力を惜しみません。

当該ガイドラインにつきましては、風営法を遵守した営業を行う上でも重要なものと認識しておりますところ、貴協会におかれましては、引き

続きガイドラインの遵守について会員への指導・啓発に御協力をお願い致します。

犯罪への転用阻止へ 適切な遊技機管理

四つ目は「闇スロ撲滅」についてです。

ぱちんこ営業とは直接関係はありませんが、平成16年の規則改正以前にホールで使われていたいわゆる「4号機」や、現在ホールで使われているいわゆる「5号機」を使用した「闇スロ」と呼ばれる賭博事件については、今も跡を絶たず、昨年中の検挙は当該が把握しているだけで14件に上っております。このような事件は、ぱちんこ営業者が行っているものではありませんが、ぱちんこ営業に使用されていた遊技機が犯罪行為に使用されているということは事実であります。現在、当庁の後援を受け、日本電動式遊技機工業協同組合と回胴式遊技機商業協同組合において、闇スロに使用される遊技機と賭客の供給を絶つための闇スロ撲滅キャンペーンが進められているところであり、貴協会を含むホール関係5団体も協賛されていると承知しております。皆様におかれましては、本取組の趣旨を踏まえ、ホールから撤去された遊

技機の適切な管理に加えて、その売却や廃棄に当たっては適正を期すよう御協力をいただきたいと思っております。

節電対策高く評価 今後の強化に期待

五つ目は、夏季に向けた節電対策についてです。

昨夏の節電に際して、ぱちんこ業界の皆様は、輪番休業を始めとする様々な節電の取組に真摯に取り組み、政府の節電目標を大幅に上回る実績をもって、その社会的責任を果たされました。この業界の取組は高く評価されるものと考えております。他方、電力需給のバランスは、現在も回復しておりません。

本年も御案内のとおり、関西地方を中心に、節電に努める方針が打ち出され、先般、当庁から貴協会を含むパチンコ・パチスロ産業21世紀会に宛てて協力をお願いしたところでありますが、現実問題として、ぱちんこ営業における電力使用の在り方については、依然として社会の関心が高く、見方を変えれば、業界が社会から期待感を持って試されている状況にあると言えます。このことを踏まえて、他の業界団体との連携の下、今夏も着実に節電の取組を進めていただきますようお願いいたします。

地域社会との「絆」を しっかりと構築しよう

本日は、時間の関係もあり、他の事項については他日の機会に譲りたいと思いますが、皆様には当方の各種通知・講話等を踏まえ、引き続き違法営業に努めていただきますようお願いいたします。

ぱちんこは、約1700万人という非常に多くの方々を楽しんでいる代表的な大衆娯楽です。ぱちんこ業界が目指すべき真の大衆娯楽というのは、国民に憩いと潤いを与えるためのものだと思います。その前提に立てば、ぱちんこ営業の基本は、過度に射幸性を追求する営業とは一線を画した、誰にとっても身近で、手軽に、安く、安心して余暇を費やすことのできる健全な遊技となることであり、それにより、地域社会に根付き、地域社会との「絆」をしっかりと構築することであると考えます。当庁からの指導、要請は、業界が風営法の規制を再認識し、遵守を徹底して、法に照らして非難を受けない健全な業態を確立していただきましたという観点によるものであります。その意味で、不適切な営業実態を慣習として既得権益のように考える違法営業者については、警察として、

一切手を緩めることなく取締りを進めていくつもりです。当庁としては、業界が進めている健全化の取組を後押しするとともに、違法営業者にやり得をさせて、真面目に努力されている違法営業者が損をするというようなことのない、違法営業者同士による公正な競争環境の整備に努め、これにより善良の風俗を維持してまいりたいと考えております。

今後とも、国民が安心して手軽に遊べる健全な娯楽を提供し、ぱちんこが真の娯楽として広く国民に評価されるため、貴協会が業界の横断的組織というその特色を十分に発揮して、国民的な娯楽産業としての社会的地位の向上と健全化に向けて努力されることを期待しております。また、ホール関係5団体で設置されている風営法検討会につきましては、その意義について非常に大きいものと考えており、当庁といたしましては、是々非々で対応することになりますが、改善に合理性があり、実務上有用性が高い事項については、引き続き積極的に協議を進めていきたいと考えております。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたします。私の話を終わります。御静聴ありがとうございました。

第21回 中国・四国支部総会

後藤信行支部長を再選



再選のあいさつをする後藤信行支部長

い状況の中、支部の皆様、日遊協の皆様と共に前進していきたい。私の体調がかんばしくありませんが、全力で職務を果たします」とあいさつした。

深谷友尋会長が、亡くなられた露木道男理事の葬儀で出席できなかったため、篠原弘志専務理事が代わって挨拶し「日遊協は横断的組織としての強み、行政との近い関係を生かしながら業界の健全化にまい進したい」と話した。来賓として

中国・四国支部は6月21日、第21回支部総会を広島市・センチュリー21広島で開いた。役員改選を行い、後藤信行支部長はじめ役員全員が再任され、新たに後藤直親氏（株ナオ）が役員に就任した。平成23年度の事業報告・決算と平成24年度の事業計画・予算も承認された。

「厳しい状況でも前進」

後藤支部長は「内外ともに厳し

平成24年度 東北支部総会

「自力で存在価値を」谷口支部長

広島県遊協・池田仁志理事長の祝辞で始まった第3部の懇親会は各方面からの来賓も迎え、にぎやかに歓談の時を過ごした。

東北支部は6月28日、仙台市・パレスへいあんで平成24年度総会を開いた。新たに(株)海光商事と(株)松山商事の新人会が報告され、代表して(株)海光商事の高山光史社長が「皆様と一緒に業界を盛り上げたい」とあいさつした。会員拡大と支部の活性化を柱とした平成24

年度の活動計画が承認され、谷口久徳支部長は「この夏の節電をはじめ消費税、エコパチ、射幸性についてなど課題は多いが、もう一度自力で私たちの産業の存在価値を見定め、高めていきたい」と決意を述べた。来賓の深谷友尋会長は「今後も



冒頭にあいさつする谷口久徳支部長（左は深谷友尋会長）

東北支援を続けるのが私たちの使命だ。最近、依存の問題がクローズアップされているが、積極的に「健康パチンコ」を推進してプラス面も強調していく必要がある。いま厳しい状況にあるが、賢くシンプルな、言わばスマートな経営を心掛けたい」とあいさつした。セミナーでは、篠原弘志専務理事が「風営法の当面の諸問題について」と題して講演した。懇親会は、山形県遊協・井上静夫理事長、宮城県遊協・岩本政郁副理事長ら業界のお客様を招き、和やかに話題も弾んだ。